

特集 21年度決算のあらまし

財政用語の解説

【自主財源】

地方公共団体が自らの手で徴収、または収納できる財源。地方税、使用料、手数料、寄附金などがあります。

【依存財源】

収入にあたって国や都道府県の関与を受ける財源。地方交付税、国庫支出金、県支出金などがあります。

【地方交付税】

地方公共団体が、等しく合理的かつ妥当な水準で事務を遂行し、財産を管理することができるよう市の財政力に応じて国が交付する税

【地方債】

地方公共団体がする借金のごとで、臨時的、大規模事業を行う場合、非常に大きな働きをします。

●家計に例える高山市の決算

みなさんの税金がどのように使われているのかわかっていただくため、高山市の決算状況(一般会計分)を家計に例えてまとめました。各ご家庭と同じように市の財政運営も、貴重な税金をやりくりをしながら行っています。

収入の部 500万円

○給料	137万円
市税、固定資産税など	
○実家からの援助	242万円
地方交付税や国からの補助金など	
○住宅を増築するための借り入れ	23万円
道路や学校などを整備するための市債	
○定期貯金の取り崩し	3万円
基金からの繰入金	
○前年からの繰越	32万円
繰越金	
○その他収入	63万円

支出の部 455万円

○食費や光熱水費	123万円
人件費、物件費	
○車の修理代	10万円
維持補修費	
○医療費	87万円
扶助費、補助費など	
○家の増改築費用	75万円
普通建設事業など	
○住宅ローンの支払い	70万円
公債費	
○貯金	18万円
積立金	
○大学に通う子どもへの仕送り	50万円
繰出金	
○その他	22万円
●通帳残高	285万円
●ローン残高	500万円

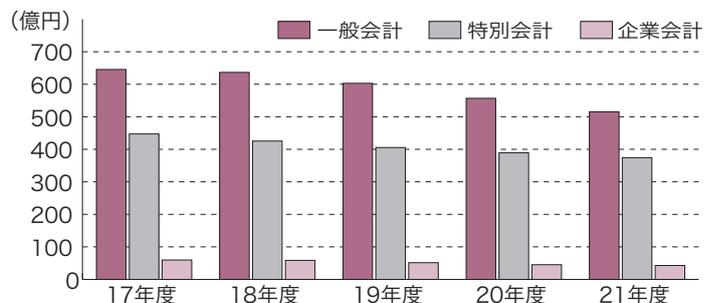
※地方財政状況調査の性質別決算額に基づき作成

●基金(積み立てたお金)の状況(一般会計)

基金の名称	21年度末	20年度末	増減
庁舎整備基金	14億5,170万円	14億5,331万円	△161万円
国際交流基金	1億円	1億円	0
交通安全施設整備基金	364万円	364万円	0
農業後継者育成基金	2億75万円	2億75万円	0
商工振興基金	6,926万円	6,895万円	31万円
観光振興基金	1億1,351万円	1億1,351万円	0
教育振興基金	3億4,802万円	3億4,530万円	272万円
スポーツ振興基金	3,356万円	3,356万円	0
文化会館土地取得基金	304万円	288万円	16万円
職員退職手当基金	39億5,201万円	37億4,300万円	2億901万円
緑の基金	13億156万円	13億723万円	△567万円
21世紀「夢」基金	4億1,603万円	4億1,384万円	219万円
まちづくり基金	44億2,935万円	44億2,782万円	153万円
福祉健康基金	18億8,614万円	18億7,671万円	943万円
畜産振興基金	0	0	0
消防設備基金	589万円	589万円	0
ふるさと農村活性化基金	6,300万円	6,300万円	0
災害基金	7,478万円	7,439万円	39万円
交通・火災災害基金	1億240万円	1億283万円	△43万円
土地開発基金	7億9,404万円	8億4,920万円	△5,516万円
文化財等公有振興基金	2億230万円	2億182万円	48万円
福祉金庫基金	2,844万円	2,840万円	4万円
高額療養費貸付基金	2,146万円	2,137万円	9万円
育英資金貸付基金	9,355万円	9,355万円	0
財政調整基金	97億7,338万円	84億9,980万円	12億8,358万円
減債基金	26億1,447万円	28億1,779万円	△2億332万円
市営住宅敷金基金	4,601万円	4,610万円	△9万円
市営駐車場整備基金	3億1,569万円	2億8,253万円	3,316万円
観光施設整備基金	4億5,823万円	4億5,546万円	277万円
飛騨高山ふるさと基金	8,777万円	1億1,598万円	△2,821万円
高齢者等住宅改修資金貸付基金	3,003万円	3,000万円	3万円
ごみ処理施設整備基金	3億円	0	3億円
計	293億2,001万円	277億6,860万円	15億5,141万円

※四捨五入で差引残額が合わない場合があります

●市債(借りたお金)の累積状況



	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
一般会計	645億4,675万円	636億5,194万円	603億60万円	556億7,541万円	515億4,774万円
特別会計	447億2,511万円	425億3,913万円	405億4,798万円	389億2,313万円	374億3,808万円
企業会計	59億7,038万円	58億5,864万円	51億3,963万円	45億2,398万円	42億8,441万円
計	1,152億4,224万円	1,120億4,971万円	1,059億8,821万円	991億2,252万円	932億7,023万円

※四捨五入で差引残額が合わない場合があります

なると財政が硬直化しているといわれます。
高山市では、20年度が77・8%、21年度においては1・6ポイント下がり76・2%となり、県下21市の中では、健全な方から数えて1位となっています。

●公債費比率
15%を超えると財政硬直化の黄信号といわれます。
高山市の公債費比率は市町村合併で大幅に増加しましたが、平成19年度が13・9%、平成20年度が13・0%、平成21年度が11・4%と着実に減少しています。